



第36号

発行一



石川県剣道連盟

〒920-0811

金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室

TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341

E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp

URL: www/ishikawa-kendo.com

二期目のスタート



会長 山下 和廣

当連盟は、先の理事会、評議員会におきまして新役員も決まり一般財団法人移行後、二期目をスタート致しました。一期目は組織や活動にいろいろ課題はありましたが、この間多くの皆さんのご理解とご協力をいただき順調に推移出来たことをまずお礼を申し上げます。また、当連盟は、昭和二十八年設立以来、剣道（居合道、杖道）という素晴らしい日本の伝統文化の普及振興と、着実な成果を積み上げてこられた多くの諸先輩に心から感謝を申し上げると共に培ったものを継承していかなければと思います。また、時代を直視し当連盟がかかえる諸問題にも

ばなりません。平成二十七年石川県剣道連盟の事業計画で、剣道の理念、剣道修練の心構え、剣道指導の心構えの三つを基本方針として、剣道を通じて人作りをして社会から高く評価される剣道界の発展を目指し剣道の普及を図ります。

重点事項として、社会的に責任を持った一般財団法人としての体制整備を図ることを目指します。

剣道人口の減少の歯止めとして会員名簿の精査と将来を見据えた青少年の育成をするため引き続きジュニア強化と県体協の協力を得た少年の一貫指導ジュニア育成事業にも取り組み将来県剣道連盟の中心となる剣士を育成します。また、いままですでに既存の組織に入れなかつた剣道愛好家の活動の場として石川県実業団剣道連盟を発足し八月一日には第一回の大会を開催します。

昨年の長崎国体では成年一部が

特集記事

- 2～3頁 ジュニア強化「一貫指導」
理事 寺内泰良
- 4～5頁 「剣客往来」
居合道教士八段 中村正人
- 5頁 「剣道授業の工夫」
宝達中 中西優登

五位に入賞しました。この勢いでこれからの全国大会や北信越国体予選を突破し本国体での活躍を期待します。今後も全国に通用する選手強化を充実し全国大会で上位ベスト8以上の進出を目指します。

剣道を良くするため日本剣道形、木刀による剣道基本稽古法の普及や適正な試合運営能力を高める審判技術の向上を図るための講習会や、若手剣道指導者育成講習会も実施し、指導者としての剣道観、技量、指導経験、指導力を持つ人材の育成をします。また、社会に広く剣道の良さを知ってもらうための広報活動の充実で剣道の正しい認識と普及を図ります。

居合道、杖道、女性委員会も愛好者を増やして活性化し普及発展を目指します。

高段者の審査会では、全日本剣道連盟の剣窓にありましたが石川県は過去三年間のデータで六段、

七段、八段（一次）の合格率が全国のトップクラスです。各方面から注目されていますが、さらに良くするため受審者とよき指導者の育成のための高段者稽古会を実施しより高いレベルの剣道を目指してもらいます。高齢者の剣道愛好者が多くなりましたが生涯剣道で自ら高いレベルの剣道を目指しながら後輩の指導も宜しくお願いいたします。

最近いろいろな大会を見ていますと守りから入る剣道やスピード、腕力に頼ったものが目立ちます。これらの行為は決して剣道が良い方向になるとは思いません。また、気迫のこもった気合がない、礼法がしっかり出来ない選手を多く見かけます。また、剣道人として恥ずかしい態度を取る選手も見かけますが、試合本位の指導になっていいるのでは無いかと危惧しております。試合や昇段はあくまでも剣道修練の手段であることを認識してほしいです。今一度剣道の理念を良く理解し心の修練してほしいものです。

これらのことを役員一丸となつて推進したいと考えております。皆様の一層のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ジュニア強化
「一貫指導」



理事 寺内 泰良

一 はじめに

平成二十七年六月二十二日(月)の朝刊にうれしいニュースが載っていました。

それは、富山県で開催された北信越高等学校剣道大会で男子団体の部で羽咋高校が優勝したことです。近年この大会では男子は新潟勢が上位を占める中で、羽咋高校が優勝したということは、これまでの監督の日々の指導と選手諸君の努力。そして優勝を達成したその実力に心から賞賛を贈りたいと思います。

そして女子個人も金沢桜丘高校の高木夏海選手が優勝しました。

選手の皆さんにとって小・中・高校と日々の精進の成果がこの栄光を勝ち得たものであり、この大会で団体優勝することは秋に和歌山県で開催される国体に出場する可能性がとても高いということ



す。高校生の全国大会は三大会ありますが、インターハイや春の選抜大会は一県一校が出場できるの県で優勝すれば出場することができます。しかし、国体は北信越地区で一位にならないければ出場できません。羽咋高校の選手を中心とする石川県の選手の皆さんには、ぜひインターハイと国体で石川の剣道の実力を全国に発信してほしいものです。

二 ジュニア強化一貫指導

このように現在の高校生の剣道は小・中・高校を含め約十年以上継続して剣道をやっていなければ、県外ではなかなか実力を発揮することはできません。とくに高校生では中学生の、中学生では小学生の強化が不可欠となってきました。

そのため、小・中・高校の剣士を石川県剣道連盟が一貫した指導理論やプログラムの元に育てようと、石川県の補助を受け、今年4月から「ジュニア強化一貫指導」という事業を立ち上げました。

三 事業の内容

この事業は、小・中・高の一貫指導体制をつくることにより

- 1 これからの若い指導者の育成
- 2 ジュニア競技者の育成
- 3 ジュニア競技者の発掘

が三本の大きな柱となっており、ベースとして、各校種の強化はもちろんのこと、小・中、中・高の合同練習会や体力・運動機能測定の結果の活用、剣道の特性に応じたトレーニングの習得、各校種による強化合宿などを計画しています。



そして、強化指導陣には小学生は、藤井勝司先生をはじめとするジュニア強化のスタッフの先生方。

中学生は中体連の石井敬先生をはじめとする中体連の先生方。

高校生は田畑武志先生をはじめとする高体連の先生方。そして、総括指導を金沢工業大学の村田俊也准教授にお願いし、今までの小・中・高校で実施していた強化事業を継承しながら、各校種間の連携をさらに密にし、将来の本県の剣

道界を背負っていく子どもたちを大きな財産として考え、より一層磨きをかけていきたいと考えている事業です。

四 具体的な事業の詳細

具体的には、小学生は

- 1 ジュニア強化練習会
- 2 ジュニア選抜強化練習会
- 3 富山遠征（北信越合同合宿）
- 4 富士山杯大会参加
- 5 ジュニア女子強化
- 6 小・中の合同練習会

中学生は、

- 1 指定選手の強化練習会
- 2 小・中の合同練習会
- 3 中・高の合同練習会

高校生は、

- 1 指定選手の強化練習会
- 2 全国大会に向けた強化
- 3 中・高の合同練習会

を実施することにより、選手一人ひとりが本県の代表選手であることの自覚を促しながら、競技力の向上を目指していきます。

五 事業の課題

しかし、一貫指導を実施する上で、いくつかの問題点があります。

それは、小学生は各道場の練習

プラス一貫指導の練習会であり、子どもの負担や保護者の理解をいかにうまく得ることができるか。さらには、指導者はボランティア活動の中での指導であり、少ないスタッフのなかで一人ひとりの負担が大きくなりすぎることです。中・高は指導者が部活動で自分の学校を強化しながら県全体の強化に携わり、試験休みや各種大会の中でいかにスケジュールを調整して、事業を展開するか。など各



校種での悩みや課題をかかえています。このような中で子どもたちが正しい剣道を学び、将来へ結びつく大きな剣道をしてほしい。そして、努力して「勝つ」喜びを知るために多くの迷いに打ち勝つ強い心を育んでほしいと心から願っています。

六 結びに

「剣道をやる子どもが減った。」

ということをよく聞きます。しかし、これはすべての競技がそうであり、地域性はなく全国どここの県市町でも同様です。これからの指導者は剣道界の人口構成をピラミッド型と捉えるのではなく、長方形型と捉えていたいただきたい。そして、子どもたちが途中で剣道をやめるのではなく末永く続けていくためには、少年時代の手厚い指導と魅力溢れる指導者の質が不可欠であると考えています。



剣客往來 インタビュ



居合道教士八段
石川県薬剤師会会長
中村 正人

新シリーズとして、剣道人としてだけでなく、社会人として立派に役割を務め、「文武両道の実践」を成し遂げている会員へのインタビューを皆様お届けします。第一回として、この度県薬剤師会会長に就任された中村正人居合道教士八段にインタビューいたしました。

問…県薬剤師会会長就任、まことに、おめでとございます。会長就任の経緯についてお聞かせ下さい。

中村…もともと薬剤師会副会長はしておりましたが、会長が出席しなくてはならない行事も多く、私が会長という事態は全く予想しておりませんでした。薬局業務と居合道の行事だけでも、かなり忙しいため、薬剤師会会長に向けての特段の準備もしておりませんでしたので、会長就任は青天の霹靂であります。

これも、六十歳を過ぎてからまだ人生修行をなささいと言われて

いるものとありがたく受け取っております。

問…居合道と薬剤師会のお仕事との両立の秘訣あるいは心がけていることは何ですか。

中村…薬剤師会の行事は、全剣連の行事や県剣連の行事、市剣連の行事などの日程に合わせて調整しながらのスケジュールになります。まだ会長になって一か月ですが過密ながらもいまのところ運よく両立できております。

もともと、私は細かい事が気になるほうですが、少年剣道時代になる玉川少年剣道クラブの北村太三郎先生から言われた「細心大胆」の言葉が今になって思い起こされます。あまり一つの事にとらわれていては、会長職は務まりませんから、気をくばりながらも一刀両断して進めていかなければという思いを強く感じております。

問…最初に剣道を始められ、のち居合道に重点を置かれた経緯についてお聞かせ下さい。

中村…現在、剣道の稽古はしておりませんが、居合道の稽古に費やす時間が多くなったというだけで剣道をやめたわけではありません。剣道と居合道は私の中では両

立しておりますし、修行の形態こそ違いますが目指すところは同じです。

問…稽古不足が、我々世代の課題であろうかと思いますが、その克服法についてお聞かせ下さい。特に全国的な競技力に達するまでの稽古はいかがでしたでしょうか。

中村…全国各地で居合道大会や講習会が年に十二回ほど開催されていますので、そのほとんどに出場しますと、そのための稽古に気を抜く日がありません。

穴田先生の道場での武田先生、穴田先生のご指導と故河西洋治先生、相川八郎先生との毎日の朝稽古が日課でした。

全国の居合道仲間との競技を通しての交流と、ライバルの存在が稽古へのモチベーションになっていったように思われます。



問…居合道修行の上で、支えられたあるいは良かったことなど挙げ下下さい。

中村…居合道修行のためには家族の理解と支援がなければ続けられないものではありません。

家庭の事情や身体の事情で稽古ができない方もおられるなかで、自らの幸運に感謝しております。

剣道や居合道は武士の修行ですから、自己犠牲の精神と上を敬い下を育てる心を養っているというのが実感です。

問…居合道指導者としての役割について、また指導の現場で普段心がけていることは何でしょうか。

中村・居合道をされている方は老若男女さまざまです。目的もそれぞれ異なっています。その目的に合わせたレベルの指導が必要で、それぞれに居合道を楽しめる環境を作っていかなければなりません。

問：今後のご自身の居合道修行における目標は何ですか。

中村：今後は、全日本剣道連盟居合に加えて、無双直伝英信流という古流の研究を深めていきたいと思っています。

今後とも、ご健康に留意され、居合道・お仕事での益々のご活躍を祈念いたしております。本日は有り難うございました。

「東日本中央講習会を受講して」



理事 本橋 克也

四月四日(土)から五日(日)にかけて、東京スポーツ文化会館で開催された、「第五十回東日本

剣道中央講習会」に大田政信先生と私の二名が参加させていただきました。

講師は全日本剣道連盟副会長の松永政美先生、矢野博志、遠藤勝雄、大嶽将文剣道範士の先生方でした。

開会式では、松永先生より五十回の節目において受講生の皆さんが、全国に正しい剣道の普及をより進めるために努力してくださいと述べられました。

受講生は、北海道から東海地区までの約七十名が参加し、半数ちかくが八段の方でした。初日は午前中に、矢野講師による日本剣道形を実施しました。指導の中で昔の先生方の指導法や稽古法も交えながら指導され、解りやすく、また新たなことを見付けることが出来ました。特に、形は「気」で打つことがもつとも大事であると力強く指導されました。午後からは、大嶽講師による審判法でした。講義の後、全日本剣道連盟試合・審判の重点事項の説明がありました。まとめてみると、次の内容です。

① 審判として適正な試合運営能

力及び指導力の向上のため実践的な研修を行う。

② 研修会・講習会を通して女子審判員の育成、審判技術の向上を図る。

③ 各国の審判員育成ならびに審判技術の向上に向け支援を行う。

④ 剣道用具の仕様の適正化を図る。

次に審判の意義として「審判が良くなれば、試合が良くなる。試合が良くなれば剣道が良くなる。」

審判の任務は、独善や主観ではなく、妥当性と客観性に基づいた自己の心の決断によって判定しなければならぬ。審判員の心得として、公平無私であることなどを丁寧に指導されました。その後、日本体育大学の学生による試合を通して、受講生が審判実践の実践方式で指導を受けました。特に姿勢・態度・所作などを厳正にすること。また発声について強く指導をされました。

次に、東京消防庁の職員による救急法の講習会がありました。「救命の連鎖」として①心停止の予防、②早い発見と通報、③早い心肺蘇生と除細動、④二次救命処置、

大切な命を救うために必要な行動を、敏速に途切れることなく行う重要性を丁寧に指導していただきました。最後に合同稽古会があり、充実した稽古が出来ました。

二日目は、ドーピングについての講義、続いて「剣道指導要領」に基づいて遠藤講師による講義が行われました。その中で遠藤講師は指導要領の中身を指導者自ら実践し理解を深めてほしいとお話されました。午後からは木刀による剣道基本技稽古法の指導があり、その後防具を着けて「指導要領」に基づいた基本稽古法を指導していただきました。遠藤講師は、百人の指導者がいれば百通りの指導法がある。指導者は自分自身の実践を通してよくよく工夫して指導に当たってほしいと説明されました。

最後にこの講習会に参加して改めて適正な指導法が大切であることを実感できました。また、指導者は常に新しい情報や指導法を自分自身から求めて行く姿勢がもつとも大事であることを学ばせていただきました。

剣道授業における 生徒の意欲を 高める工夫①



宝達志水町立

宝達中学校

教諭中西 優登

一 はじめに

剣道の授業では「相手の動きに応じて攻撃したり相手の技を防御したりすることによって勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わう」というねらいに迫るために、生徒の意欲を高めることが重要であり、そのための工夫が必要です。効果的な方法を取り入れることで授業が活性化し、生徒が楽しみながら剣道を学ぶことが期待できます。私が中学校での剣道の授業を行う中で、効果的であると感じた指導方法を紹介したいと思いません。

二 ペア運動

剣道の授業では「剣道は対人競技である」という視点から、剣道の授業のねらいに迫る要素をもつ様々なペア運動を取り入れます。

そうすることで、生徒の意欲を高めながら、剣道に活かせる動きや意識を高めることができます。

三 ぎりぎりよけゲーム

その一つとして「ぎりぎりよけゲーム」(名称は生徒の実態に合わせてふさわしいものを考えるのが良いと思います)があります。打突部位に関係なく時代劇のように斬ったりよけたり真似をするもので、キーワードは「気を合わせる」です。

指導者の「はじめ」の合図で一方の生徒が打ち、相手はそれをぎりぎりよけます。打つ側の生徒はスローモーションで大きくゆっくりと動き、よける側が動きを見てよけやすいように配慮します。一の太刀をよけた後には二の太刀、三の太刀と続けます。特に形にはこだわらず、自由に打たせることで楽しさを感じさせることができます。指導者は様子を見て「やめ」の合図をかけます。ここで指導者は「気を合わせる」ことでもよくよけているペアをクラス全体の前で手本として紹介するなどして賞賛します。刃筋を見て左右へよけたり、しゃがんだりして気を

合わせていることをクラス全体に価値づけることが大切です。

四 期待される効果

このゲームを通して、ぎりぎりよけるためにはお互いの気づきが必要であるということに気付かせることができます。また竹刀や木刀の長さの感覚、間合いの感覚をつかませるためにも効果的です。ぎりぎりよけるための緊張感も味わうことができ、真剣に取り組もうとする必然性も生まれます。また、応用編としてお互いに竹刀をもって行う方法もあります。この場合もお互いに「気を合わせる」ことを意識し、相手はどう動くかとしているのかを見極めながら行わせることが大切です。

このゲームは、三年間の授業の終盤に実際に防具を着けて打突し合うレベルに向けて初期段階の練習としてふさわしいものと考えられます。

五 指導上の留意点

指導者の留意点としては、安全面に配慮し取り組ませることが挙げられます。楽しさのあまりいつい夢中になって周りの生徒同

士がぶつかったり、竹刀や木刀が当たったりすることが予想されます。事前に声かけをしたり、十分なスペースを確保したりすることが大切です。また、授業では木刀や竹刀で行うこともありすが、当たっても衝撃が少ないスパー木刀を使用するのもよいと思います。生徒の実態や施設、道具の実状に合わせて実施することが大切だと思います。



継続する剣道修行



小松市 辰巳 明伸

高校の先輩林義也先生のご自宅で、

「二十年前ぶりですが、今から剣道を始めても大丈夫でしょうか。」と尋ねたところ、即座に「もちろんです。よく決心されましたね。」と言われて、その場で武道具店に電話され大いに喜んで頂いたのが平成二年の暮れのことでした。高校時代に少しだけ齧った程度でしたが何となく忘れられなくて、子供にもさせたいと思ったのが発心でした。

当時、北野圭一先生が、月曜稽古会「錬精会」で指導に当たっておられ、そこでお世話になったのが修行の始まりでした。北野先生は口数少なく細かい指導はされませんでしたが、週一回の稽古は基本中心で、また日本剣道形を非常に重視されて、月一回は剣道形の指導がありました。先生が亡くなられてからは、剣道形の稽古の機会がめっきり少なくなり、もともと打たなくてはと反省しています。平成十四年から協会の執行部に入れて頂き、昇級・昇段審査講習会で生徒に剣道形を指導すること

で、私自身の稽古にもなりました。さらに修行上勉強になったのは、大阪日曜会・剣清会との交流です。西善延範士、下村清範士との稽古では、ひたすら懸るのみですが、常に打突の機会を教えられたように思います。西範士は、「攻めて勝って打て」「攻めた後は竹刀にまかせよ」と、「攻め」の重要性を常に話されました。

下村範士には、「辰巳、わしが何を考えているか察せなだめや」と観の目の重要性を教えて頂いています。また、剣道とは「攻め合い、浮かし合い、崩し合いや」と話されています。交流稽古では必ず同年代、同段位で立ち合いを行います。緊張の中です。「攻めて崩して捨てて打つ、その機会を、捨て所を見ていきますよ」と指導して頂いています。

剣道日誌も三冊目になりましたが、これからが本当の剣道修行だと思っと思っています。教えられたことが身に付くように、本物の七段に成れるように精進して参ります。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

感謝の剣道六段合格



金沢市 宮崎 薫

この度五月十七日、愛知県で行われた剣道審査会において、剣道六段に合格することができました。

これまで諸先生方、諸先輩方、並びに多くの方々から頂戴しました、ご指導や激励に対し、心より感謝するとともに、改めてお礼申し上げます。特に岩脇律子先生には、ご多忙にも関わらず一つ一つ丁寧にご指導いただき深く感謝しております。

今まで自分の身体能力のみを主とし剣道の本質を理解せず、自由奔放に稽古を積んできた結果、悪い癖もたくさんあり、立ち姿、発声、構えなど基本的なことから指摘されました。その都度修正するのですが、悪い癖を変えていくのは並大抵のことではなく、とても窮屈で大変苦労しました。律子先生の厳しくも思いやりのあるご指導のおかげで、剣道に対する心構えや稽古の内容に変化があり、悪い癖も少しずつではありますが、良くなりしました。しかし、六段を受審するには、まだまだ未熟で相手を引き出して打つことや、打突の

機会を捉えて打つことができません。みました。律子先生との立会の稽古のなかで「今ではない」「我慢、我慢」「もつと自分から攻めてから」などその都度注意していただき、打突するまでの過程を大事にする稽古を積み重ねていきました。

審査に行く最後の稽古で、岩脇司先生から「普段できないことが審査でできるわけがない。これが今の自分の実力です。六段どうでしょうか、という気持ちで臨んできて下さい。」と言葉を掛けて下さいました。六段をいただいた三度目の審査では、自分でも驚くほど心が落ち着き相手のことがよく見え、自然と体が動き、相手を引き出して打つ、機会を捉えて打つことが出来たと思います。

今回の昇段は、決して自分一人の力では成し遂げることができなかったと思えます。感謝の心を胸に刻み、真の六段になれるように更に稽古を積んでいきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願います。

〔全国大会等の記録〕(1~7月)

◎第24回北信越高校剣道新人大会

1月31日・2月1日、庄川体育センター

◇男子 ▽決勝

羽昨 ①-1 新潟第一

◇女子 ▽準決勝

金沢 0-② 新潟商業

◎第24回全国高校剣道選抜大会

3月27・28日、春日井市総合体育館

◇男子 ▽予選リーグ

金市工業 1-③ 土浦日大

金市工業 1-③ 高松商業

◇女子 ▽予選リーグ

星稜 0-0 三養基

星稜 0-① 聖光学院

◎第37回全国スポーツ少年団

剣道交流大会

3月27~29日、埼玉県立武道館

◇小学生団体 ▽予選リーグ

石川 1-③ 広島

石川 ③-0 青森

◇中学生個人

◇男子 徳沢賢士郎 予選敗退

◇女子 中生吹 予選敗退

◎第63回都道府県対抗剣道優勝大会

4月29日、大阪市中央体育館

▽一回戦 石川 0-⑥ 広島

◎第23回新化旗争奪

全国中学校選抜剣道大会

5月3・4日、河北台健民体育館

◇女子団体 3位 宇ノ氣中

ベスト8 羽昨中

◎第25回若獅子旗争奪

中学校選抜剣道白山大会

5月9・10日、松任総合運動公園体育館

◇男子団体 ▽決勝

森本 0-③ 陵成(三重)

◇男子個人▽3位 浦川良博(山中)

同 北井渉之輔(宇ノ氣)

◇女子団体▽決勝

羽昨 1-② 久御山(京都)

▽3位 宇ノ氣、白山市A

◇女子個人▽3位 横町柚里佳(中能登)

◎県高校総体剣道競技

6月4~6日、羽昨体育館

◇男子団体 ▽決勝

羽昨 ③-1 航空石川

◇女子団体 ▽決勝

金沢 ①-0 金沢桜丘

◇男子個人優勝 喜多 亮介(羽昨)

2位 下池 真平(羽昨)

◇女子個人優勝 西村 綾花(桜丘)

2位 高木 夏海(桜丘)

◎第53回北信越高校剣道大会

6月19~21日、富山県西部体育センター

◇男子団体 ▽決勝

羽昨 ①-1 新潟第一

◇男子個人2位 下池 真平(羽昨)

3位 平井亮太郎(羽昨)

◇女子個人優勝 高木 夏海(桜丘)

◎第7回都道府県対抗女子剣道優勝大会

7月18日、日本武道館

▽一回戦 石川 0-① 岐阜

◎第57回石川県中学校剣道大会

7月19・20日、松任総合運動公園体育館

◇男子団体 ▽決勝

中能登中 ①-1 宇ノ氣中

◇女子団体 ▽決勝

宇ノ氣中 ②-1 羽昨中

◇男子個人優勝 西川広晴(津幡中)

2位 指本勝稀(宇ノ氣)

◇女子個人優勝 中生吹(星稜中)

2位 横山 令(宇ノ氣)

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 割込 幸裕 東 徹朗

富田 東 辰巳 明伸

▽六段 櫻木武次郎 本吉 秀充

加藤 庄悟 宮崎 薫

▽教士 米林 憲英

▽錬士 宮谷 秀二 白尾 隆次

石田 尚史

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudou.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL249-8233
〒921-8065 FAX249-9139